



ぱぴるす 第9号



まだまだ寒い日が続きますね。でも寒さに負けず、校庭で半袖で遊んでいる
みなさんを図書館から見ていつも元気をもらっています。

今年は節分が2月2日だそうです。いつもは2月3日だった気がするけど、
なんでだろう？と思った人は図書館に調べにきてみよう！
暦や行事、太陽や月についての本も図書館にあります。

『カエサルさんとカレンダー 2月はどうしてみじかいの？』

いけがみしゅんいち著

ローマの将軍、カエサルがちいさくなって家に登場。
太陽暦のことについてわかりやすく教えてくれる絵本。

『こよみのはなし 人間の知恵16』小松 恒夫著

エジプトの月をもとにした暦から現代の暦まで。今のカレンダーになったの
は明治政府がケチだったから！？なんておはなしものってます。高学年向け。

『伊能忠敬 NHK にんげん日本史』小西 聖一著

伊能忠敬は日本の地図を作った人として有名ですが、もともとは天文・暦学の
ために地球の正確な大きさを測ろうしていたのです。

『二十四節気のえほん』西田 めい著

むかしの人が季節を知るものさしとしてつくられた暦。
節分は立春の前日。二十四節気には自然とともに
くらす知恵がいっぱいつまっています。

豆まきの時におうちの人にうんちくをきかせちゃおう！

裏面は豆まきにちなんで鬼が出てくる本を紹介します。

ウラへの。。。



みんな大好き！鬼のでてくる本の紹介

図書館には鬼のでてくるお話の絵本がたくさんあります。こわい鬼もいれば、やさしい鬼、泣き虫の鬼もいます。鬼と友だちになれるかな？

『おにたのぼうし』 あまんきみこ著

節分の日には家を追いだされたおにたのおはなし。

(にんげんって おかしいな。おには わるいって、きめてるんだから。

おにも いろいろ あるのにな。にんげんも、いろいろ いるみたいに。)

おにたの心の声です。みなさんはどう思いますか？

『おにぼう』 くすのき しげのり著

こちらもやさしいおにのおはなし。

母親と山のなかでずかにくらしているおにぼう。

鬼なのはおにぼうか人間か。

『まゆとおに』 富安 陽子著

やまんばのむすめ、まゆのおはなしです。

ある日おなかをすかせたおにがまゆをたべようと家にさそいます。

まゆを煮るための準備をして…さてどうなるでしょう。

『桃太郎は盗人なのか？—桃太郎から考える鬼の正体』 倉持 よつば著

小学4年生が調べた事をまとめた本です。いろいろな資料から

自分の考えをまとめています。調べ学習のやり方の参考にしても。

『鬼がでた』 たくさんのふしぎ傑作集 大西 廣著

こちらも鬼とはなにか、古い文献や絵巻などから考えてまとめた本。

世界の鬼の絵もあります。日本にはどうやって伝わってきたのかな？

高学年むけ。387の棚にあります。

昔話の棚にも鬼がたくさん。

いろいろな鬼のおはなしを読み比べてみよう。

